

県女第一期生より、皆実高校生に至る六拾九年の歴史に連なる者。また今後、この同じ流に連なる者、手をつなぎ足音高く歩もう。足音高く声を揃えて元気に歩もう。我等は、皆実有朋会員である。歩もう、歩もう、力強く。



発行所
広島市出汐町
広島皆実高等学校内
社団法人
皆実有朋会
印刷所
四反田印刷株式会社
翠町電⑥2024・5107

皆実有朋会館寄付一覧表 (昭和45年5月13日現在)

卒業回数	人員	金額	卒業回数	人員	金額	卒業回数	人員	金額
有朋1	19	62,000	有朋25	86	265,500	皆実1	8	23,000
〃 2	8	16,000	〃 26	73	260,000	〃 2	12	196,000
〃 3	6	23,000	〃 27	81	234,500	〃 3	20	60,100
〃 4	12	28,000	〃 28	43	193,895	〃 4	18	80,700
〃 5	10	57,473	〃 29	79	230,300	〃 5	6	13,000
〃 6	8	21,000	〃 30	77	195,500	〃 6	8	20,000
〃 7	20	53,000	〃 31	46	93,500	〃 7	7	42,500
〃 8	29	105,158	〃 32	39	102,316	〃 8	8	14,000
〃 9	39	295,578	〃 33	37	108,000	〃 9	9	23,200
〃 10	32	59,500	〃 34	61	216,500	〃 10	6	22,500
〃 11	44	243,316	〃 35	28	59,700	〃 11	11	43,000
〃 12	62	500,025	〃 36	67	138,000	〃 12	19	35,000
〃 13	27	77,000	〃 37	36	90,000	〃 13	21	49,500
〃 14	52	154,578	〃 38	33	75,000	〃 14	17	40,000
〃 15	49	193,000	〃 39	49	109,679	〃 15	17	46,000
〃 16	66	244,315	〃 40	36	82,000	〃 16	17	141,500
〃 17	27	76,737	〃 41	21	45,879	〃 17	35	88,500
〃 18	27	86,000	〃 42	29	66,000	〃 18	60	132,000
〃 19	37	201,000	〃 43	62	128,158	〃 19	45	52,520
〃 20	78	194,737	〃 44	59	146,579	〃 20	15	26,500
〃 21	76	296,000	〃 45	9	20,000	〃 21	303	686,000
〃 22	59	160,500	〃 46	20	41,579	(皆実計)	662	1,835,520
〃 23	33	100,500	(有朋計)	1,944	6,288,160	(総合計)	2,606	8,123,680
〃 24	53	137,158						

【理事會報告】
四月以来、理事会、評議員会等が相次いで開かれ、同窓会館の建設に関して話し合いが行なわれた結果、来年三月末完成をメドに工事を開始することになり、内装工事を考慮に入れると少々とも九月下旬に着工しなければならぬことになりました。
しかし、現在までに一千万円弱しか寄附金が集まっておらず、残りの費用をどうするかという点に議論が集中し、結局次の二つの方法で、最後の努力をすることになりました。
一、理事・評議員を中心に一人あたり五、十万円を定期預金それぞれを担保に五〇万円程度借り入れる。
二、今年度中に最低三〇万円集める。そのために、各期毎に五、十万円ずつを割りあてる。しかし、有朋からの寄附はこれ以上望めないで、皆実を中心に

いよいよよ着工 来年三月完成を目標に

これは借金をしての建築は県教委の許可が得にくく、特に、建物が担保に入っている場合、県の施設として取り扱ってこれないためです。
この場合、借入金の返済は利息とも年間一四〇万円程度になり、PTAからの使用料年間六〇万円新会員からの寄附五〇万円をさしひいても、残り三〇万円余を同窓生からの寄附でまかなうことになります。
これは、先の皆実有朋誌二九号に発表された各期の担当者が中心になり、新たに一、二名を事務局より依頼しクラス会、同期会などを利用して寄附を呼びかけるものです。
又、従来は募金活動の組織があまりなかったため、これを機会に再編成して、募金活動の徹底をはかることなどが了承されました。

(註) 本表には客員、会員外の寄付および銀行利息他50万円は含まず
【同窓会館...】
皆実有朋会館建設のための募金状況は表の通りです。この表を見ていただければ、今どんな状況にあるかがよくわかります。
すでに足かけ四年になります。それなのに、これだけ集まっていないのです。その原因を求めて、役員の方々は夜のふけるのも忘れて議論をしておられるのです。恐らく役員の方々の心の中にも、「なぜこんなことをしなければいけないのだろう」という思いがふと浮かんで来ることもあるでしょう。しかし、その答はあり、ありません。あるとすれば、自分自身が皆実有朋会員だからです。
下中町のあの校舎で、暗い被服廠の建物で、四本柱の皆実高校で、青春の一時代をすごしたその

第17回定例総会及び新会員歓迎会

と き 8月23日(日) 午前10時
と ころ 皆実高校体育館 (広島市出汐町)
会 員 券 500円
当 番 期 有朋 33.34期
皆実 5.11.20期

※会員券は当番期の役員の方、又は皆実有朋会事務局でお求め下さい。

事実が、同窓会館の建設という一点に集中しているのです。
これから巣立ちゆく人々の、又自分自身の心ふるさととして、同窓会館を建設することが、今現在皆実有朋会の会員である私たちの責任ではないでしょうか。



(二面より)
らは吹奏楽部員のラッパの音がきこえてきます。今日も生徒たちは楽しい高校生活を満喫しているようです。